

STOP! 精神医療センター富谷移転、
2・23 みやぎユーザーズアクション

“声なき声と共に”

Action News

アクションニュース

増刊号

vol.025

2023.9.8

【毎週金曜日発行】

stop.iten223@gmail.com



移転を勝手に
決めるな!

STOP! 富谷
移転反対
宮城県立
精神医療センター
Miyagi Psychiatric Center

みやぎアピール大行動2023デモ行進

【特集】審議会は移転反対多数！知事の公募案とは？...P2-4

みやぎアピール大行動2023が開催されました...P5

Stop！4病院再編連続街頭宣伝行動part3

Nothing about us without us!

私たち抜きに私たちのことを決めるな！



facebook

審議会は移転反対多数！知事の公募案とは？



審議会で提案する村井嘉浩県知事

審議会は移転反対多数！ 知事の公募案とは？

8月31日(金)、第3回宮城県精神保健福祉審議会が開催され、会議に出席した村井嘉浩知事が「名取市に民間精神科病院を新たに公募し開設する」という新提案をしましたが、急な新提案は驚きと戸惑いを持って迎えられ、審議会委員からは異論が続出しました

「富谷市移転は公約」「まず公募をやらせてほしい。移転が出来なければ辞職する」という知事に対して、審議会の委員からは「そもそも県民・当事者の意見を反映した公約ではない」「知事の進退は関係がない」と一蹴されました。

「私を止められるのは県議会だけ」という村井知事の新提案に対する賛成もゼロでした。

またしても県の意向が富谷移転ありきなことが明確になりましたが、この知事提案は我々当事者にも衝撃を与えました。県はこれまで、県立がんセンターと仙台赤十字病院を統合する名取市の新病院に精神科の外来機能を持たせると説明していましたが、それが今後どうなるのか疑問が残ります。

民間精神科病院を新たに開設で従来案を廃止というのであれば、県は公募案により後戻りできない決断をしたことになります。

宮城県精神科病院協会が 緊急声明と逆提案

村井知事の公募案を受けて宮城県精神科病院協会から緊急声明と逆提案が出されました。以下全文を掲載します。

緊急声明

(一社)宮城県精神科病院協会
会長 岩舘 敏晴

昨日(令和5年8月31日)開催された宮城県精神保健福祉審議会において、村井嘉浩知事は名取市に最大120床規模の民間精神科病院を公募する考えを明らかにした。県南の精神疾患患者、精神障がい者に配慮した

ものだというが、基本は本来県が責任をもって担うべき役割を民間に丸投げするという県の姿勢を改めて表現したものであった。

もし公募というなら、県立精神医療センターを名取市に残した上で、富谷の新病院こそ公募するべきであり、

その新病院は「合築」といわず身体合併症に対応する総合病院精神科の機能に特化した病院にすれば良いだけである。

今回も、県が精神科医療の実情についてあまりにも無理解であることを露呈しており、当会としては県立精神医療センターの富谷市移転に改めて反対し、知事の提案も宮城県における精神科医療に対する誠実さに欠けるものと考え、この提案に反対するものである。



知事提案に異論が続出の精神保健福祉審議会

審議会は移転反対多数！知事の公募案とは？

県の提案に対して宮城県精神科病院協会からの逆提案

(略)

ここに至る県の考えを整理すると以下のような流れである。富谷市に完全移転する→名取市に外来機能を残す→名取市に入院機能も残す→名取市に民間精神科病院を新設して精神医療センターの機能を継承させる

この流れを見て誰もが思うのは、それなら精神医療センターは名取市に残ったらよいではないかということである。

村井知事の提案を受け、宮城県精神科病院協会は次のように逆提案する。

①精神医療センターは名取市に残し、長年築いてきた地域精神医療保健福祉を継続すると

共に、地域包括ケアをさらに推進して夜間救急の減少を図る。

②富谷市には東北労災病院と連携して身体合併症の対応に特化した民間精神科病院の新設を公募する。

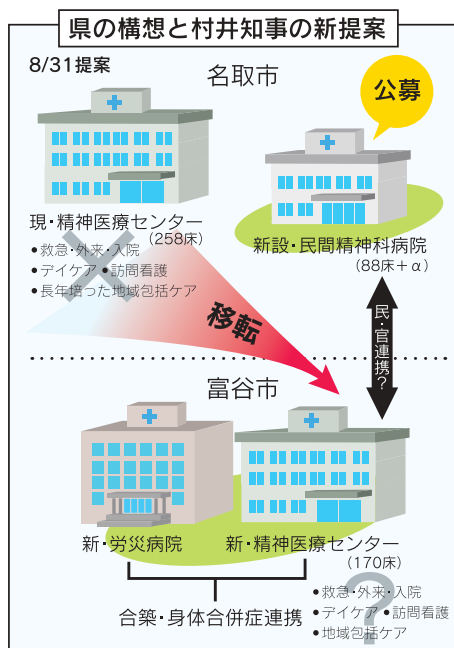
村井知事の提案によって高等看護学校跡地(6,700㎡)に最大120床の病院建設は可能であることが明らかにされたのであるから、精神医療センターをダウンサイズすれば同地に早期移転は可能である。ダウンサイズさせるためには、長期入院慢性患者を周辺病院や住所地の病院に転院させ、今後は救急と急性期の入院治療および地域ケアに特化した病院として機能すればよい。名取市美田園にある児童関連施設との連携も可能である。

救急のために多数の個室が必要ならば120床をさらにダウンサイズしてもよいし、土地面積が狭いなら現精神医療センターの道路反対側にある県所有地を利用すればよい。同地に建設されていた仮設住宅は既に撤去され更地になっている。一方富谷の新病院は東北労災病院と協力して身体合併症に対応する精神科病院として機能すればよい。県立ではないから合築といわず、将来的には再編統合も可能である。

当会の提案は、精神疾患患者及び精神障がい者、地域の支援者や関連施設、精神医療センター職員、県内の精神科医療機関、そして村井知事を含めた誰もが困らないと共に、宮城県における精神科医療の底上げにも繋がるものであることを最後に強調したい。

註)西尾雅明審議会委員によれば、地域包括ケアを推進することは夜間救急の減少につながることで海外のデータで実証されている。

左図は新提案と逆提案を比較したもの



審議会は移転反対多数！知事の公募案とは？

病院部会開催は「条例違反」 市民団体要綱を無視と抗議

医療関係団体等で作る地域医療を守る共同行動みやぎ連絡会では、9月4日開催の県医療審議会病院部会が、県情報公開条例違反での告知・開催となっていることについて「抗議文」を村井知事及び県医療審議会医療部会宛に提出しました。

この条例の事務取扱要綱では、審議会などを公開または一部公開で開催する際、事前の周知を義務付ける。「少なくとも開催の日の7日前までに」ホームページ等に日時や場所、議題を掲載すると定めています。

今回の病院部会の開催告知は3日前の1日。県政記者クラブで会見では「県民が当たり前情報を知るということを基本的に踏みにじるもの。」

抗議文を提出する「地域医療を守る共同行動みやぎ連絡会」代表

どの審議会にも県民が立ち会える民主主義を基本的に保証しなさいと抗議した」とし、「村井知事の意向が職員を縛り、本来の形での開催ができていないのではないかと危惧する」と訴えました。

詳しくはこちらから

<https://sennannet.livedoor.blog/archives/22052292.html>



村井知事の民間病院誘致案 郡仙台市長会見「寝耳に水」

郡仙台市長は9月4日の会見で、先週示された宮城県名取市に民間の精神科病院を誘致とする村井知事の新提案について「寝耳に水」とした上で「新たな病院をつくることは自己矛盾ではないか」と疑問を呈しました。

郡仙台市長「県立精神医療センターが移転することによって、ニーズが多い精神医療に対して新たな病院をつくるということになるわけですね。これについて、自己矛盾はないのかということも申し上げなくちゃならない」と述べ、名取市に精神科病院を誘致するという知事の案に疑問を呈しました。また、県の審議会で賛同を得ら



村井知事の民間精神科病院誘致案に遺憾の意を示す郡仙台市長

れないまま公募に踏み切ろうとしていることに強い不信感を示し、「(審議会で)全員が反対と聞いているし、多くの皆さんの疑問にはお応えいただけないままこのようなことが行われることについては、本市としてもとても遺憾だと思います」と県の姿勢を批判しました。

郡市長会見<全文>こちらから

<https://syahokyo.blog.jp/archives/22684892.html>



みやぎアピール大行動2023が開催されました



木村英子氏がみやぎアピール大行動のデモ行進に参加

みやぎアピール大行動2023 が開催されました

9月3日(日) 障害者への偏見や差別の解消を訴える「みやぎアピール大行動2023」が開かれ約120人が参加しました。集会会場となったせんだいメディアテークでは木村英子参議院議員を迎えくしょうがい者があたりまえに生きられる社会を実現するために「を」をテーマに講演、「健常者の理解がないと障害者が生きていくのは難しい」などと訴えました。リレートークでは4名が発言、WEB署名発起人の青木もらんさん(仮名)からは県立精神医療センター(名取市)の富谷市移転構想に反対を次のように訴えました。

「無理に既存の患者の通院の困難な富谷市に移転する理由は私たち当事者の側にはありません。現状の県の施策は富谷移転ありきで、それを患者や関係者の意見も聞かず上からいう事を聞かせようとしているとしか言いようのないもので、ただでさえ通院困難な障害を抱えた患者を置き去りにした非常に功利的で血の通わないものです。」

集会後、約100人が「私たち抜きに私たちのことを決めるな!」「優生思想をゆるすな」「障害者権利条約を守れ」などと書かれたプラカードを掲げ、「精神医療センターの移転を勝手に決めるな!」などアピールコールと共に定禅寺通やアーケード街を歩いてJR仙台駅まで行進しました。

Stop! 4病院再編 連続街頭宣伝行動part3

9月5日(火) 県議会開会日に、ともに市政を考える仙台市民の会が呼びかけた県庁前街頭宣伝行動には約100名の市民が参加。村井知事が新たに名取市に民間精神科病院誘致・公募を打ち出したこともあり、参加者からは知事の新提案を批判する発言が次々出されました。集会では、村井知事に対して「4病院移転再編反対!」「村井知事は、県民の声を聞け!」などシュプレヒコールを行いました。同団体の主催する3回にわたる連続街頭宣伝行動に参加したのは累計200名あまりの市民となり、県の4病院再編計画が市民の声を汲み取らないものだという事を訴えました。

県庁前で抗議の街頭宣伝をする市民

